

2015.12.7

## 「地域包括ケアの中核に」

### 軽費老人ホーム研究会議



情勢報告した川西理事長

全国軽費老人ホーム 発展していかなければ 協議会（川西基雄理事長）の第5回全国職員 研究会議が11月26・27 日に都内で開かれ、約 130人が集まった。 初日に情勢報告した 川西理事長は、身元保 証人の問題、保護を必 要とする人の優先入所 の問題など課題は山積 しているとし、「生活 支援を基盤にした地域 住民としての利用者主 体のソーシャルワーク を確立し、地域包括ケ アの中核的機関として

元ホームレスの男性 を初めて受け入れたな

かがわ苑（福岡県）で ながら支援すること は、直接担当する職員 が女性しかいないこと などもあり、受け入れ に賛否があったとい う。入所後も食事をし たのに食べていないと 言うなど問題行動がみ られた。しかし職員間 や関係機関などと連携

で、生活困窮者への対 応に自信が持てるよう になったという。 ほかには、行動力の ある入所者を中心に支 援しながら地域交流活 動が活発になった玉真 園（鳥取県）や、町内 会物支援助（シヨッピ ングツアー）が住民の 介護予防や地域貢献に つながっている蔵王や すらぎの里（山形県） などの発表があった。 2日目は実践発表の 表彰や、雄谷良成・社 会福祉法人佛子園理事 長らの講演があった。